

# 名取川水系河川整備計画 〔大臣管理区間〕

～各種施策・事業の進捗状況～

平成23年 11月 28日  
国土交通省東北地方整備局

# ◆河川整備計画の基本的考え方

## 計画の主旨

本計画は、河川法の3つの目的が総合的に達成できるよう、河川法第16条に基づき平成19年3月に策定された「名取川水系河川整備基本方針」に沿って、同条の二項に基づき、当面実施する河川工事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す法定計画を定めたものです。

- 1) 洪水、高潮等による災害発生の防止
- 2) 河川の適正利用と流水の正常な機能の維持
- 3) 河川環境の整備と保全

## 計画の対象期間

本計画の対象期間は、概ね30年間としています。

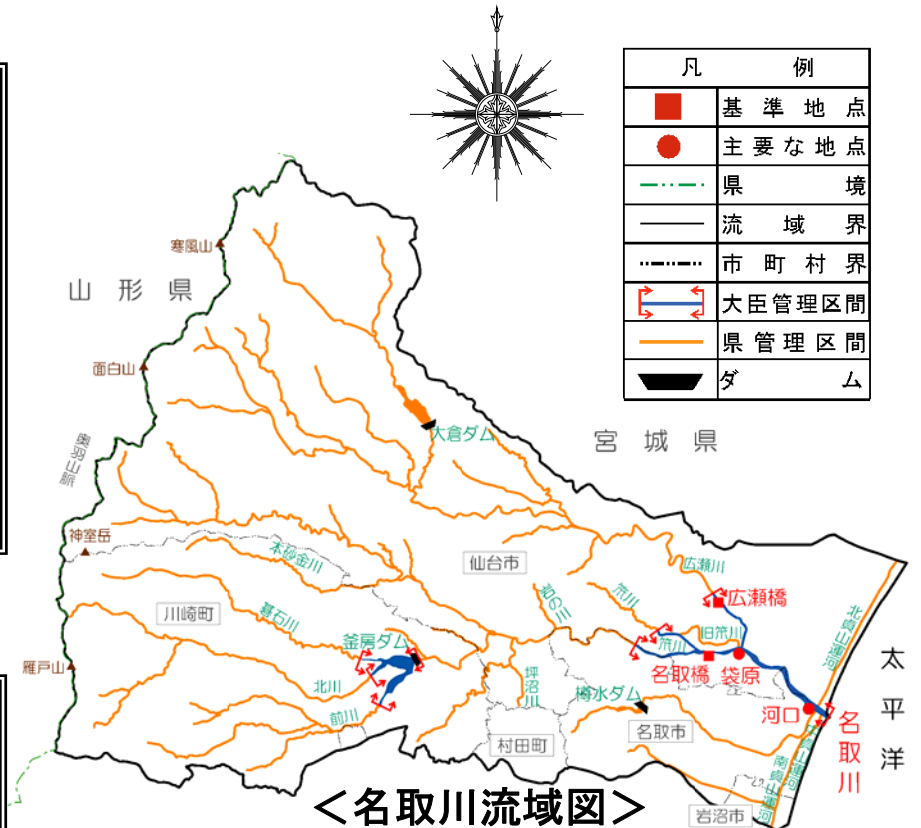
※策定後の状況変化や新たな知見、技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行うものです。

## 計画の対象区間

本計画の対象区間は、国土交通省の管理区間（大臣管理区間）である29.4kmを対象とします。

※各県知事管理区間の整備計画の策定及び変更時に十分な協議、調整を図り、不整合が生じないように留意しています。

※整備の実施に当たっては、計画の進捗状況に応じて適宜連絡・調整を図り実施しています。



<名取川流域図>

管理区間延長

河川名	区分	区 間		延長 (km)
		上流端	下流端	
名取川	左岸	仙台市山田字船渡前3番地先	河口	12.5
	右岸	名取市高舘熊野堂字五反田51番地の1地先		
広瀬川	左岸	仙台市新河原町2番の2地先	名取川への合流点	3.9
	右岸	仙台市長町字北町119番の6地先		
飛騨川	左岸	仙台市壺沢字海老沢14番の3地先	名取川への合流点	2.5
	右岸	仙台市壺田字八幡東55番の1地先		
碓石川	左岸	柴田郡川崎町大字川内字馬引59番地先	追の沢の合流点	3.5
	右岸	柴田郡川崎町大字川内字溜水160番の2地先		
前川	左岸	柴田郡川崎町大字小野字電雲寺前1番の1地先	碓石川への合流点	5.0
	右岸	柴田郡川崎町大字支倉字上針21番の1地先		
北川	左岸	柴田郡川崎町大字川内字七曲山229番地先	碓石川への合流点	2.0
	右岸	柴田郡川崎町大字小野字笹平山98番地先		
合計				29.4

# ◆河川整備計画の基本的考え方

## 河川整備の基本理念

地域の個性と活力、歴史や文化が実感できる川づくりを目指すため、以下の3点を基本理念に関係機関や地域住民との情報の共有、連携の強化を図りつつ、治水、利水、環境の調和を図りながら河川整備に関わる施策を総合的に展開します。

### 都市を流れる川にふさわしい安全性と安心感の実現

名取川水系は、東北最大の都市を流れる川にふさわしい安全性と安心感の実現を目指します。河川整備基本方針で定めた目標に向け、必要な各種治水対策を総合的に展開し、洪水、内水被害、地震等さまざまな災害から沿川地域住民の生命と財産を守るとともに、渇水に対する備えを充実させ、人々が安心して暮らせる安全な川づくりを目指します。

また、地域の安全と安心が持続できるよう、流域の自然的、社会的特性を踏まえた継続的・効率的な河川の維持管理に努めます。

### 都市を潤す豊かな自然環境の保全と次世代への継承

市街地に見られる豊かな自然環境と河川景観を守り、次世代に継承するため、行政と市民の連携と協働のもと、流域一体となった河川環境の保全、創出を目指します。

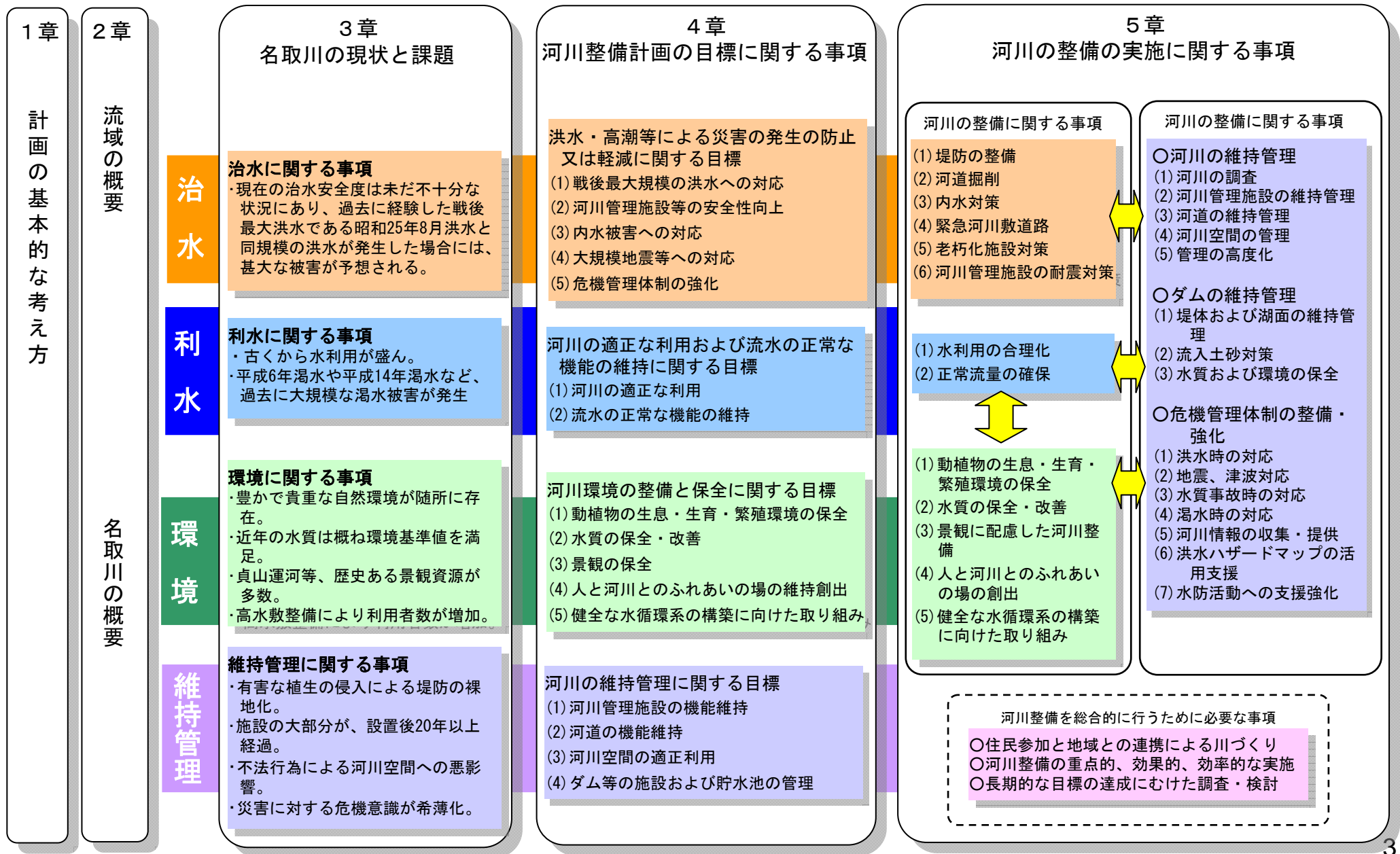
また、河川環境の整備と保全が適正に実施されるよう、河川環境の適正な管理に努めます。

### 名取川水系を中心としたコミュニティの創造と活性化

名取川水系を対象として実施されている活発な市民団体活動を促進するとともに、川の恵みや災害時の恐ろしさを教育する場、川を通じた地域交流の場等を積極的に設け、名取川・広瀬川を中心としたコミュニティの創造と活性化に努めます。

# ◆河川整備計画の基本的考え方

## 現在の名取川水系河川整備計画【大臣管理区間】の構成



# ◆河川整備計画の目標

## 河川整備計画の目標

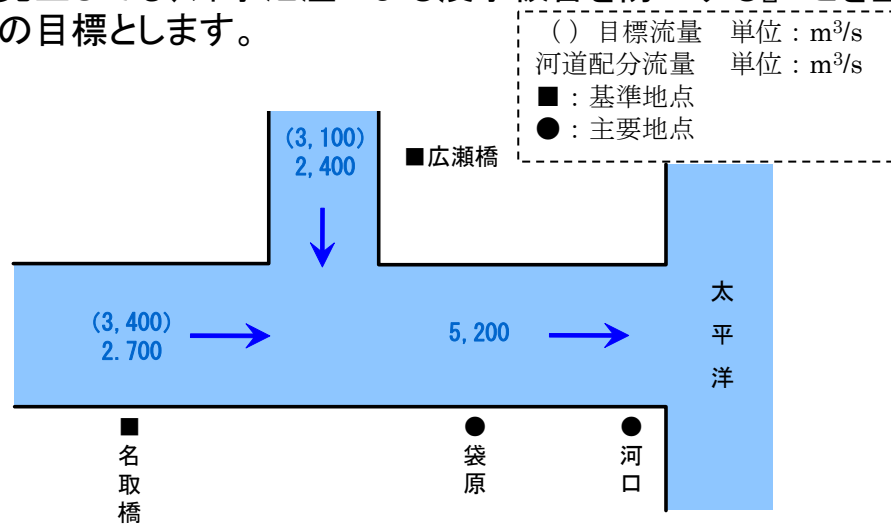
本計画で設定した治水、利水、環境及び維持管理それぞれの目標に向け、整備を実施します。

### ○計画の目標

#### 治水

##### ・戦後最大規模の洪水への対応

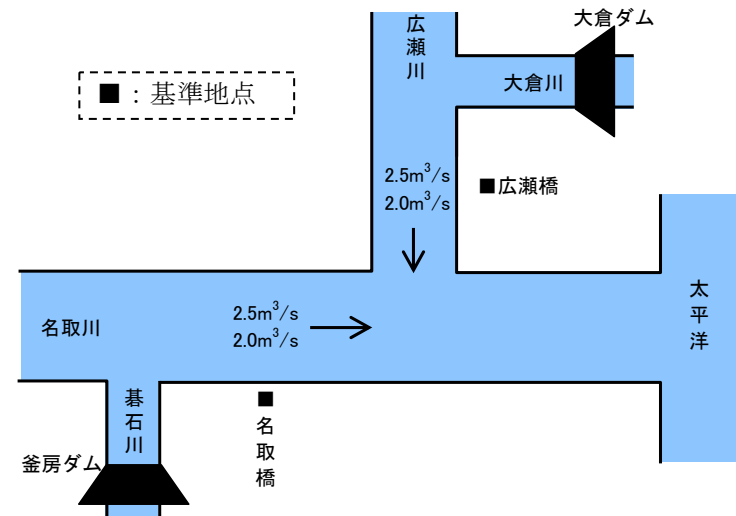
『戦後最大洪水である昭和25年8月洪水と同規模の洪水が発生しても、外水氾濫による浸水被害を防止する』ことを整備の目標とします。



#### 利水

##### ・流水の正常な機能の維持

流水の正常な機能の維持に努め、アユをはじめとする動植物の生息・生育・繁殖環境や良好な水質の確保等を図るとともに、渇水時の流況の改善に努めます。



#### 環境

##### ・河川環境の整備と保全

多様な動植物の生息、生育・繁殖環境を保全するために、良好な河川環境の維持・保全に努めます。

多様な動植物の生息、生育・繁殖環境を保全するために、良好な河川環境の維持・保全に努めます。

#### 維持管理

##### ・河川の維持管理

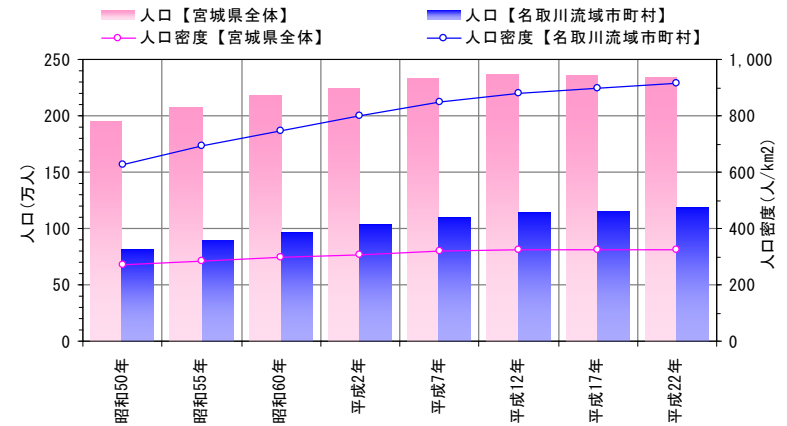
河川管理施設の状況を的確に把握するとともに、状態を評価し、その結果に応じた改善を行い、治水、利水、環境の目的を達成するための必要なレベルを持続させていくことを目指します。

# ◆河川整備計画策定からの社会情勢等

- ・ 整備計画策定（平成21年6月）後、水系内には大きな変化は無いものの、河川の維持管理を適切に行いつつ、現計画の目標達成に向け必要な事業等を着実に進めています。
- ・ また、有事に備え、被害が最小限となるよう、危機管理体制の確保と強化に努めています。

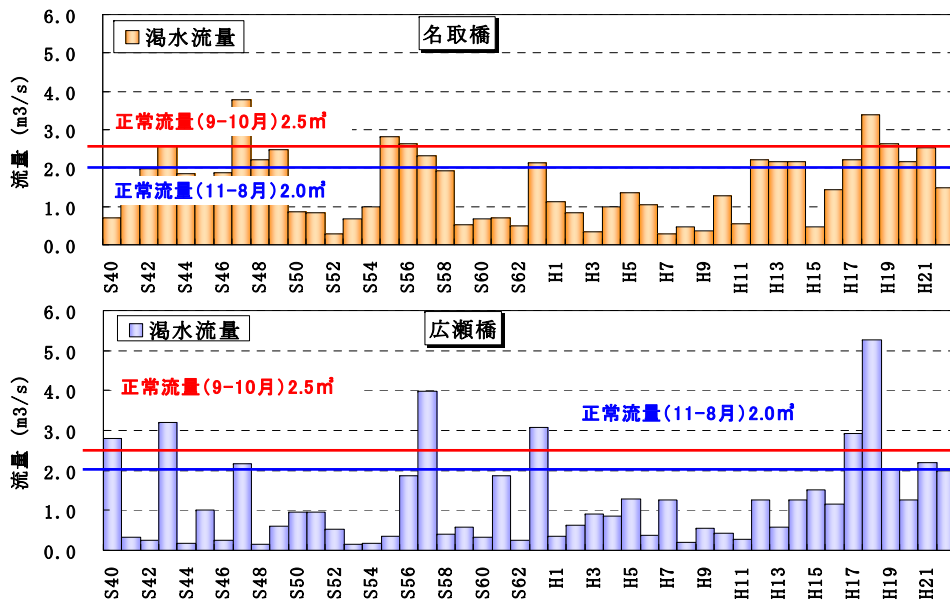
## 社会情勢の変化

- ・ 平成17年から平成22年にかけて、人口や人口密度はほぼ横ばいです。

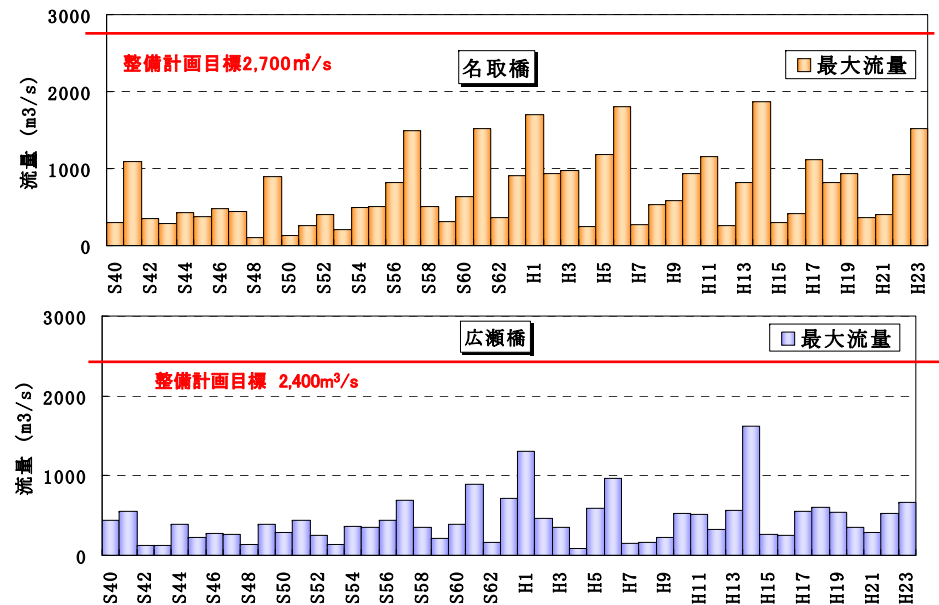


## 洪水・渇水の発生状況

- ・ 平成22年夏期に渇水が発生、また平成23年9月に、平成14年7月洪水以来となる規模の洪水が発生しています。



＜基準地点（利水）の渇水流量＞

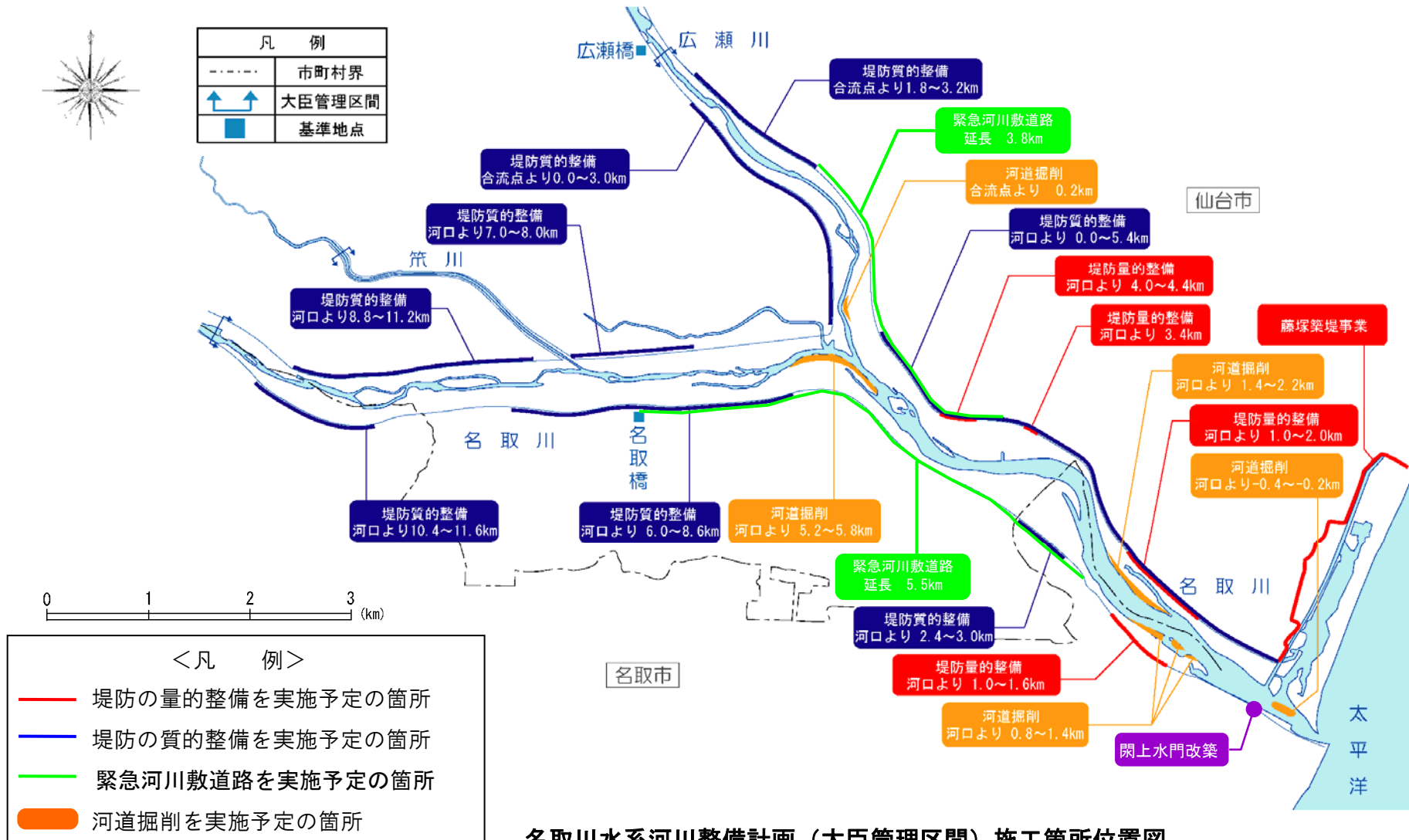


＜基準地点（治水）の年最大流量＞



# ◆整備計画における治水対策（平成21年～平成50年,整備計画全体）

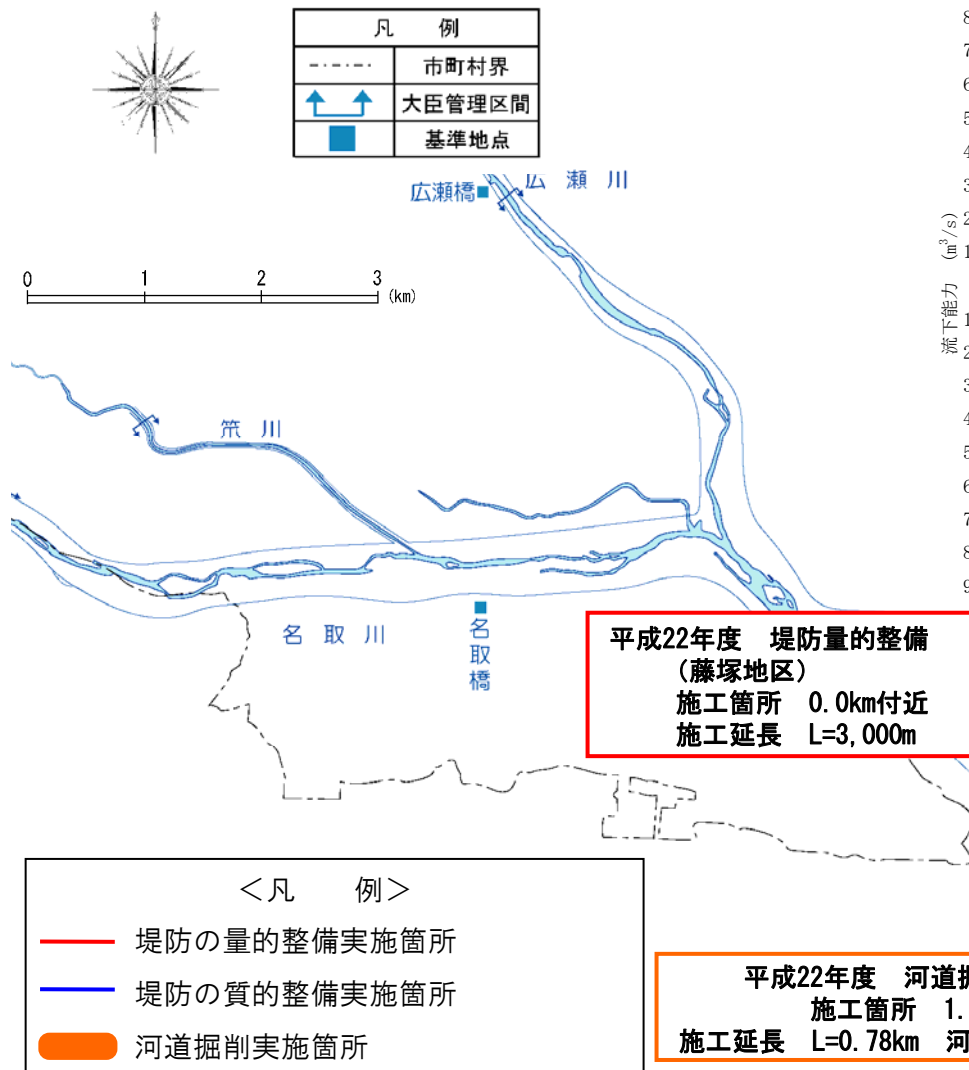
・流下能力が不足している箇所については早期に河川整備を行い、**水系全体の治水安全度を高めていく**必要があります。



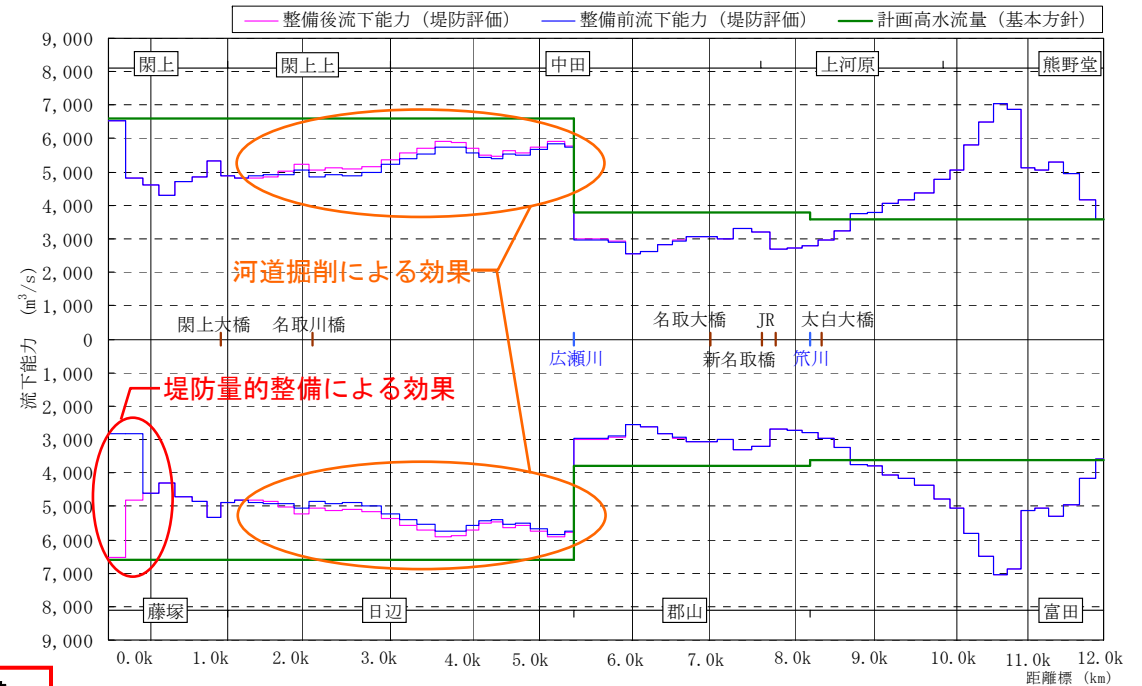
# ◆整備計画における治水対策（平成21年～平成23年）

・流下能力が極端に低い地域において整備効果の早期発現を目指した治水対策を優先的に実施するなど、**上下流の治水安全度のバランスに配慮**した整備を実施しています。

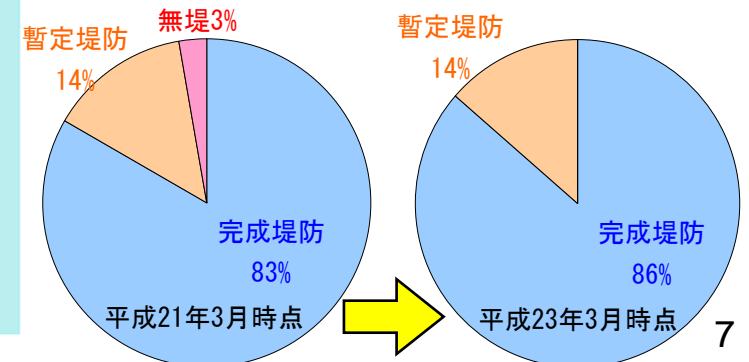
平成21年～平成23年 治水対策実施箇所位置図



名取川 整備前後流下能力図



名取川堤防整備状況





# ◆堤防の量的整備

## 名取川 堤防の量的整備

- ・名取川で唯一無堤だった河口部左岸、藤塚地区において**堤防の量的整備**を実施しています。
- ・堤防整備に当たっては貴重な井土浦の環境に配慮し、学識者の意見を聴きながら工事を実施しています。



### 無堤箇所である藤塚地区の被害状況



### 【井土浦】

井土浦は名取川の河口だった頃の名残の潟湖で、良好な汽水域環境を保持しており、汽水域の湿地に生息する「ヒヌマイトシボ」が確認されていることから、「日本の重要湿地500」(環境省)に選定されている。



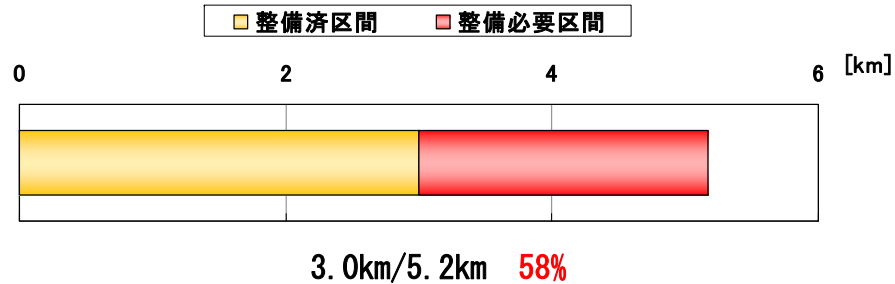
### 《堤防断面》



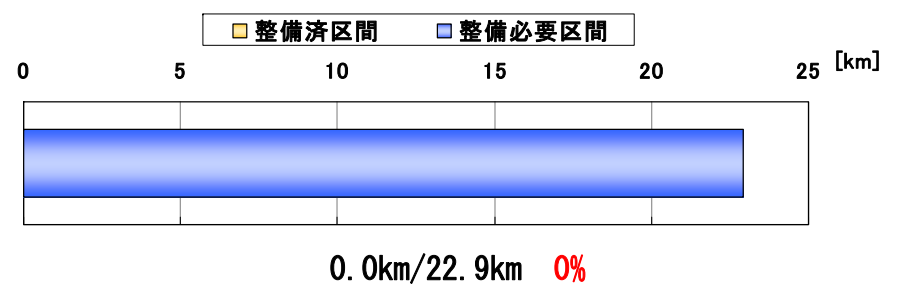
# 整備計画における治水対策（H21.6～H23.3までの進捗状況）

・上下流のバランスに配慮しながら整備計画策定後、整備を実施してきました。

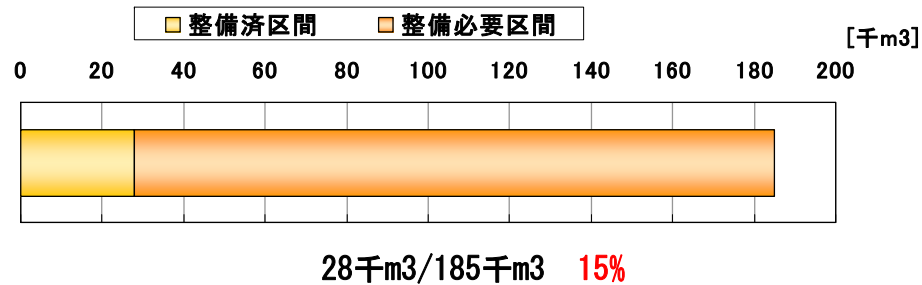
## ○堤防の量的整備



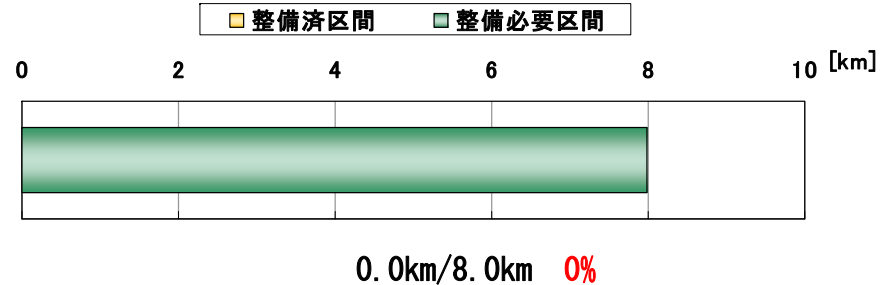
## ○堤防の質的整備



## ○河道掘削



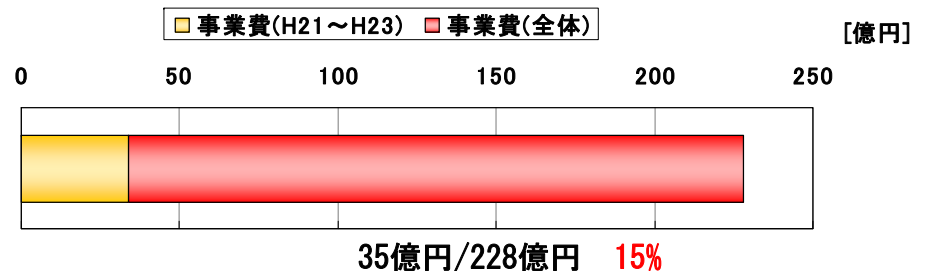
## ○緊急河川敷道路



## ○閑上水門改築

対象地区	位置	整備必要区間	整備済区間	進捗率	備考
閑上地区	0.0k 左岸	—	—	—	現在、早期事業 着手に向け 計画検討中

## ○河川整備計画事業費



※228億円(H21～50)を現在価値化すると約154億円



# ◆河川の維持管理

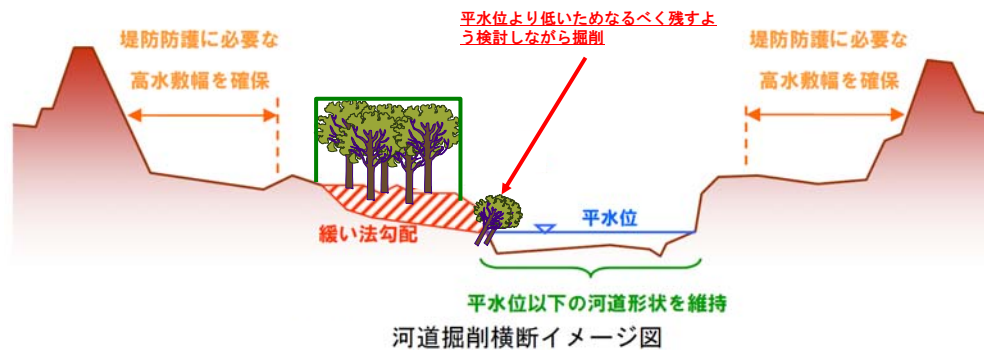
## 河道の維持管理

・河道の変動、河岸の浸食、護岸、根固工等の変状を早期に把握し、必要に応じて、機動的かつ効率的に補修等を実施しています。樹木管理についても公募伐採を行うなど、住民との連携に努める。

### <実施項目>

- ・河道管理  
(河道内施設の現状機能の保持)
  - ①河道堆積土砂撤去
  - ②護岸補修
  - ③塵芥処理  
(流木や不法投棄ゴミの撤去)
- ・樹木管理  
(定期的に要伐採箇所を検討)

洪水時に流下阻害となる樹木群



### 河川空間の管理

名取川、広瀬川及び笹川では、多くの不法投棄が後を絶たないため、監視体制の強化や地域住民や関連機関と連携して、不法投棄の防止に努めています。



名取川左岸7.8k 太白区大野田地先 不法投棄の状況



警察との合同巡視の様子 (平成22年12月実施)

### 記者発表資料

平成23年 2月 7日  
仙台河川国道事務所

大反響！！ 約3倍超える応募がありました  
～河道内の雑木伐採の希望者募集の結果～

仙台河川国道事務所では、河川管理の取り組みの一環として、名取川と阿武隈川(宮城県内)に繁茂する雑木について、伐採・持ち帰りにご協力いただける方を1月11日から2月4日まで一般公募しました。

その結果、公募区画数21区画(21人)に対して約3倍を超える67人の応募がありました。  
来年度も同様の取り組みを行っていきたいと考えています。

国土交通省仙台河川国道事務所が管理する河川は、阿武隈川(宮城県内)、白石川、名取川、広瀬川、笹川の5河川、管理総延長は73.5kmとなっております。

- ・阿武隈川(白石川含む)については54.6kmを管
- ・名取川(広瀬川、笹川含む)については18.9k

名取川では雑木伐採の公募を行ったところ、予想を超える応募数があり抽選まで行った。

### 1 目的

河川敷に繁茂している雑木は、洪水時に流巡視の死角となり、不法投棄の一因にもなることが伐採を行っていますが、今回、公募により希望者の方から伐採いただき、その伐採木を無償で持ち帰って利用いただくことで、伐採木の活用とコスト縮減を図るものです。

### 2 公募箇所

別紙1参照

- 名取川 4区画(1区画約400m<sup>2</sup>程度)
- 阿武隈川 17区画(1区画約1000m<sup>2</sup>程度)

### 3 応募数

- 名取川 53人(競争率13.3倍)
- 阿武隈川 14人(競争率0.8倍)

# ◆河川の適切な利用及び流水の正常な機能の維持

## 水質の保全・改善

- ・定期採水による分析及び水質自動観測装置により、河川の水質状況を把握しています。
- ・現在の良好な水質の維持、向上のため、既存の広瀬川導水施設等を適切に運用しています。

### 平成22年度渇水の対応概要

#### 釜房ダム

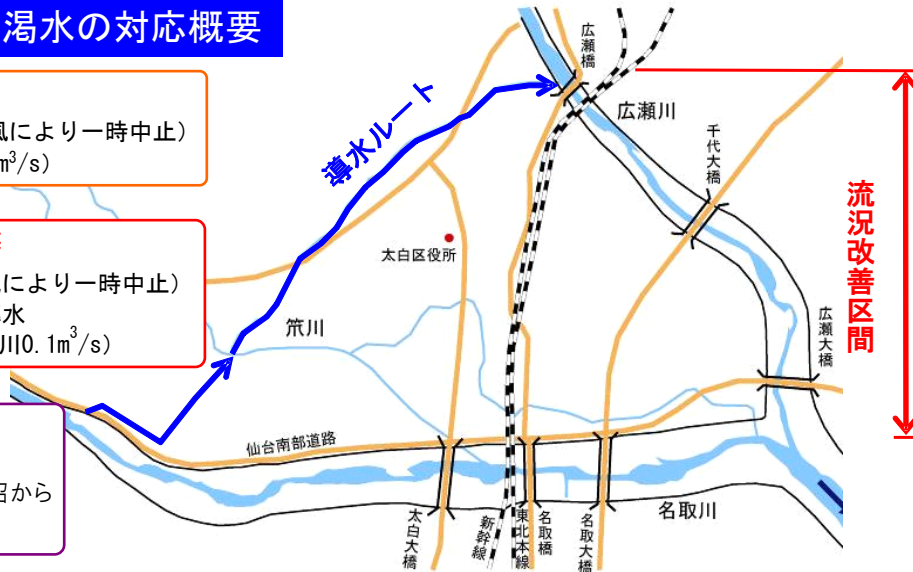
7/29～8/31 (8/12は台風により一時中止)  
釜房ダムから放流 (0.5m<sup>3</sup>/s)

#### 広瀬川環境用水導水事業

7/29～8/31 (8/12は台風により一時中止)  
名取川から広瀬川へ導水  
(広瀬川0.4m<sup>3</sup>/s 旧笹川0.1m<sup>3</sup>/s)

#### 愛子ため池・斉勝沼

8/23～8/26  
愛子ため池及び斉勝沼から  
約0.1m<sup>3</sup>/sの増放流

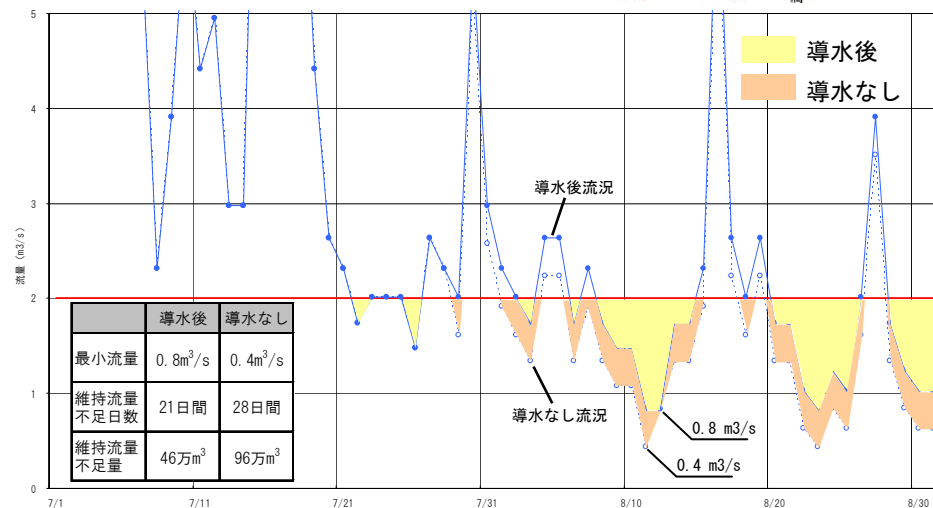


#### 【平成22年夏季渇水の流況】

平成22年夏季渇水時の広瀬橋地点流況は7月下旬頃から悪化し、渇水被害の拡大が予想されたため、流水の正常な機能の維持のため広瀬川導水施設の運用により、広瀬川の流況改善に努めました。

7月～8月末までの間で維持流量2.0m<sup>3</sup>/sを下回った日数は、導水後流況で21日間続きました。(導水を行わなかった場合28日間と推定)

最小流量は0.8m<sup>3</sup>/sでしたが、導水を行わなかった場合、0.4m<sup>3</sup>/sまで低下したものと考えられます。また維持流量に対する不足量を見ると、導水を行わなかった場合は約96万m<sup>3</sup>が不足しましたが、導水によって46万m<sup>3</sup>に緩和されています。



平成22年7～8月における広瀬橋地点流況 (日最小流量)



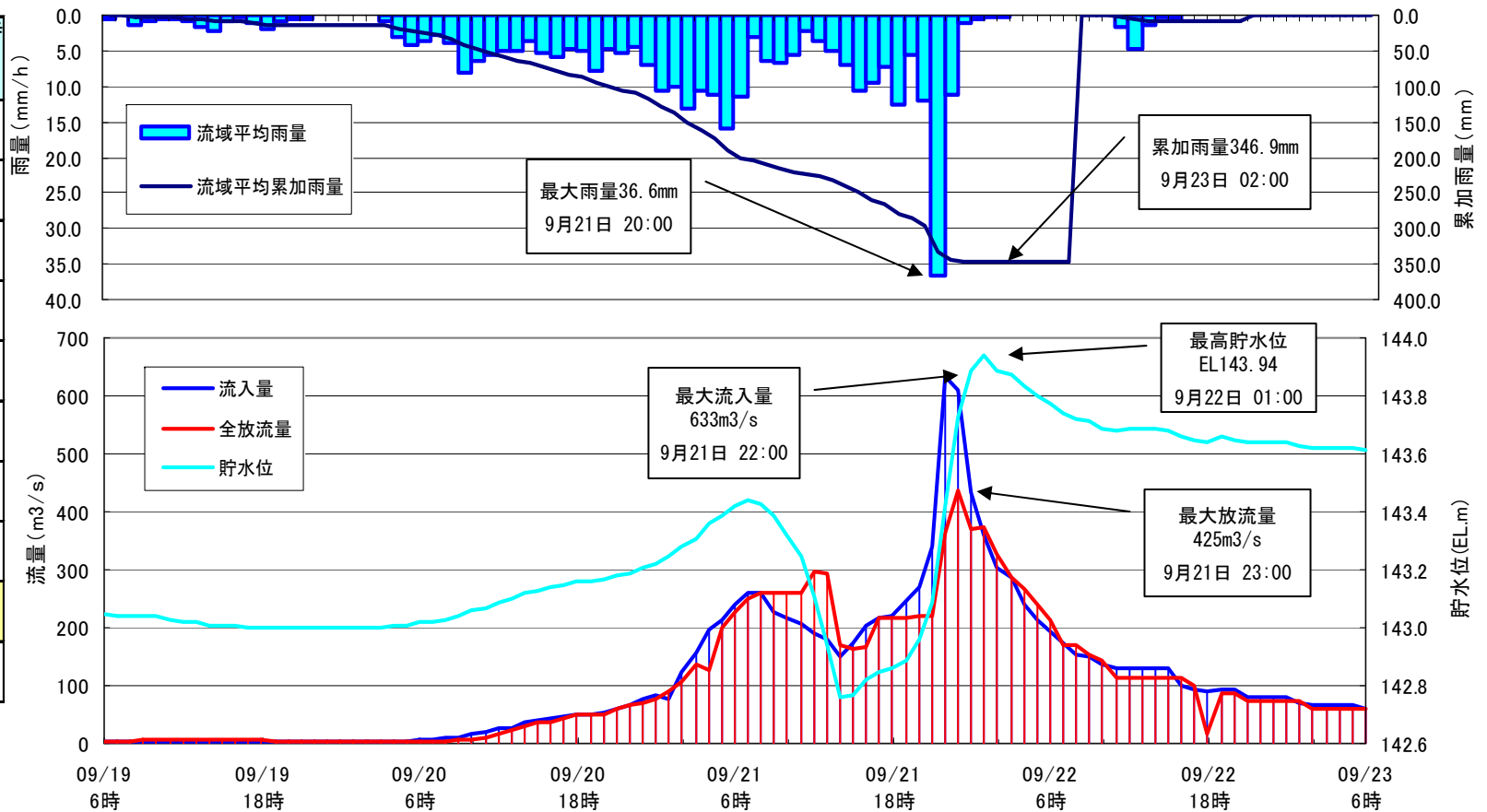
# ◆ダムの維持管理

## 近年の洪水調節実績

- ・釜房ダムでは洪水調節を行い、下流河川の水位低減を図っています。
- ・ダムで洪水調節を行うに当たっては、関係機関への情報提供及び下流沿川への注意喚起など、迅速な対応を図っています。

川	順立	洪水年月日	総雨量 (mm)	最大流入量 (m <sup>3</sup> /秒)	最大流入時 の放流量 (m <sup>3</sup> /秒)
	1	H14.7.10	223	91757	477.31
	2	H11.8.14	423	90816	188.78
	3	H1.8.6	228	88370	510.29
	4	S57.9.12	160	82400	520.00
	5	H1.8.27	190	777.14	177.64
	6	S61.8.5	307	72690	473.40
	7	H6.9.29	250	71229	467.41
	8	H17.8.26	204	67692	430.64
	9	H23.9.21	347	63389	436.19
	10	H18.12.27	171	61312	8.34

※この順立は、最大流入量を基準としたものです。  
今回の洪水は、ダムが完成してから9番目大きい洪水となりました。



近年の洪水調節実績  
(釜房ダム)

平成23年9月洪水の洪水調節実績 (釜房ダム)